

令和7年度 第1回 浜松市立中郡中学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2025年5月1日(木) 14:00~16:20
2. 開催場所 浜松市立中郡中学校 会議室
3. 出席委員 高井 昭、本間 義章、山下 功、村木 富代、川島 博美、杉本 泉、河合 洋子、
小杉 敬治郎
4. 欠席委員 和田 健吾
5. オブザーバー 小池 誠(積志協働センター)
6. 学校支援コーディネーター 梅田 瞳
7. 学 校 高橋 基(校長)、川合 公孝(教頭)、鈴木 智香(教務主任)、
飯田 宣子(1学年主任)、野田 潤子(2学年主任)、袴田 素充(3学年主任)、
川口 哲也(大樹学級主任)、鈴木 祥紘(生徒指導主事)、佐藤 奈帆(CSD)
8. 教育委員会 牧野 知子(教育総務課)
9. 傍聴者 なし
10. 会議録作成者 CS ディレクター 佐藤 奈帆

11. 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、高井委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された高井委員から、本間委員を副会長に指名する旨の報告があった。

12. 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、高井委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

13. 協議事項

- (1) 令和7年度学校運営の基本方針
- (2) 学校いじめ防止基本方針に関すること
- (3) 学校運営協議会の自己目標の決定
- (4) 夢育やらまいか事業(CS加算分)について
- (5) 地域人材・地域資源の活用について

14. 会議記録

司会の川合教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和7年度学校運営の基本方針

議長の指示により、高橋校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・スローガンの「誇り」が印象に残った。自身にも家庭にも誇りをもち、子供達が地域にも誇りを持ってもらいたい。(本間委員)
- ・自己肯定感が上がることが誇りを持てることに繋がる。地域が活性化していくような熟議をしていきたい。(川島委員)
- ・こういう生徒にしたい、という気持ちが伝わる。充実した生活というのは子供の姿としては難しいので、子供にうまく伝えることが必要。(杉本委員)

- ・充実、誠実の具体例を子供に伝えていくことが大切だと思う。GS 委員としても具体例を出さないといけない。(河合委員)
- ・グランドデザインの内容が分かりやすくなった。まずは子供達が楽しく学校に来ることが大事。目立たない子へのフォローも必要。私たちが地域として出来ることも話し合いたい。(村木委員)
- ・グランドデザインの充実の中の、「心」が非常に大事だと思う。(小杉委員)
- ・先生方は良い方向に戻そうとするが、子供の好きな方、得意な方へ伸ばしてあげるといい。(山下委員)
- ・先生方が充実していることが大事。良かれと思っていることも生徒に対しては逆だということもあるので、生徒とよく話し合ってほしい。(高井委員)

(2) 学校いじめ防止基本方針に関すること

議長の指示により、生徒指導主事から、別紙資料に基づき学校いじめ防止基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・現時点でロッカーの上の掲示ホルダーが空の生徒が数名いた。その子達の実態を委員にも共有してほしい。(河合委員)
- ・各学年に完全不登校の生徒が2名ずつくらいいる。登校日数が少ない生徒も2～3名ずついる。色々な子がいることを子供達も意識し、認めていけるように伝えていく。(高橋校長)
- ・不登校の生徒が教室にいないことが、当たり前であってほしくない。(河合委員)
- ・協議会で、不登校の生徒やいじめの実態について詳細な情報を開示してほしい。先生だけで悩む必要はない。皆で意見を出し合えば解決策が見いだせるかもしれない。(本間委員)
- ・知っているだけで、どうしようも出来ないことが多い。協議会で具体的な情報を聞けば、違う意見が出るかもしれない。(村木委員)
- ・数十年前の中郡中は荒れていたもので、繰り返してはいけない。小さいいじめが大きくなっていくので、地域でも話し合いが出来るようなチェックリストがあるといい。協議会で出来ることは、地域でのチェックリストの作成だと思う。(高井委員)
- ・不登校の子は、過去のいじめを引きずっている。協議する場合、当事者が協議されていることを認知しておく必要があると思うが、それは難しい。学校はせめて、いじめの件数等の情報は開示してほしい。(杉本委員)
- ・他校の事例でもいいので、現代のいじめの情報共有をしたい。気を付ける視点も変わり、地域との共有も出来る。社会人になってもいじめはあるが、成長していく段階で対応出来るようになるといい。(川島委員)
- ・いじめについてもっと議論する必要がある。(小杉委員)
- ・先生が一对一で対策するのではなく、学校全体で対策していく必要がある。(杉本委員)
- ・協議会がいじめを全て支えるわけではないが、次回以降に話し合いをし、学校の様子を知り、出来ることを提案させてほしい。(高井委員)

(3) 学校運営協議会の自己目標の決定

議長の指示により、川合教頭から、別紙資料に基づき自己評価表について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・「地域クラブ活動へ移行するための課題」を検討することは、協議会では話が大きすぎて出来ない。学校として取り組みたいことに対して、地域の中で取り組めることを検討した方がよい。(杉本委員)

- ・ 3 年間の大きなテーマを決めて、そこから毎年のテーマを決めた方が良いのでは。(河合委員)

(4) 夢育やらまいか事業 (CS 加算分) について

議長の指示により、川合教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業について説明があり、内容について委員の方々にご理解いただいた。

(5) 地域人材・地域資源の活用について

議長の指示により、各学年主任から、今後の総合的な学習の時間についての説明があった。

【1 学年】

総合的な学習の時間に福祉について学ぶ予定をしている。6、7 月くらいに民生委員にお越しいただき、話をしてもらう。2 学期に天竜厚生会の方にお越しいただき、福祉体験を行う。(飯田 1 学年主任)

- ・それぞれの町の民生委員で何を話すか事前に相談して、生徒たちに伝えたい。(高井委員)

【2 学年】

2 学期に 2 日間の職業体験をする。1 学期後半に、地域の方に職業講話をお願いしたい。昨年度はたくさん有資格者の方に職業講話をしていただき、普段聞けない話も聞けて、生徒の反応は非常に良かった。(野田 2 学年主任)

- ・今年度も有識者を 50 名ほど集めたい。(高井委員)

【3 学年】

パパママ未来体験として、10 月に総合学習の時間に赤ちゃんとの触れ合いを予定している。NPO 法人の「ふわっと」に親子集めを依頼しており、地域の方には、生徒と親子を繋ぐお手伝いに入ってもらいたい。(袴田 3 学年主任)

- ・子育て広場で、中郡中でのパパママ体験が非常に良かったので、今年度も期待しているとのご意見をいただいた。(高井委員)

【大樹学級】

今年度は地域での職場体験をお願いしたい。それに先立ち、生徒たちが将来社会人としてどういう力が必要かを話してほしい。発達学級の子を受け入れている企業など、経営者の方に話を聞けるとありがたい。(川口大樹学級主任)

- ・大樹学級の子には先生が付くのか。(杉本委員)
- ・教員が職場に巡回する。(川口大樹学級主任)

その他報告事項等

高橋校長から、部活動の地域移行に関して、学校から地域にお願いをすることは難しく、地域の方が主体的に指導してくれることが理想だが現実には難しい、との報告があった。

川合教頭から、次回会議は、2025 年 6 月 26 日(木)午後 2 時から会議室で開催する旨の連絡があった。

また、委員の互選により、次回会議の議長は高井委員に内定した。